

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊丘陸上部短距離400メートル代表（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

ブックオフで売りました

活動の動機

家にあった小学校の頃遊んでいたカードなどが邪魔になっていて捨てようか迷っていた時にどうせなら他の人に使ってもらおうという気持ちからこの活動を始めました



取組・活動実施日

令和3年8月15日から令和3年8月30日

ゴール

12

解決したい地域の課題

ゴミの排出量が近年増加しているというニュースを聞いたので少しでも街のゴミを減らしたいです

目指す将来の姿

ゴミの落ちていない世界

活動の内容

家にあったもう使わないカードをブックオフで売りました
そのお金で、自分が読書感想文のために使う本を買いました

◆ニックネーム・グループ名（人数）

いとうーちゃん（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 安全でおいしい野菜をつくる

活動の動機

私は国民一人あたり一日約130グラム、年間で47キログラムもの量の食品を捨てていると知って、少しでも食品ロス減らしたいと思ったので、この活動を選びました。


取組・活動 実施日

令和3年7月22日から8月25日

ゴール

12

解決したい地域の課題

食品ロスが減らないことや、農薬が沢山含まれた食品が売られていること

目指す将来の姿

今まで簡単にスーパーで手に入れることのできていた野菜を自分の手で作り育てる活動を実践することで、「12番 つくる責任、つかう責任」の食品ロスの減少を達成することができる。

活動の内容

1 野菜の病気を防ぐ 2 雑草と害虫の除去 3 安全な肥料づくり 1 病気を防ぐために株と株との間を開けて風通しを良くしました。2 害虫はそれぞれの方法で駆除し、雑草は害虫や栄養不足にも繋がるので、毎日必ず抜くようにしました。3 安全な食物を作るために安全な肥料を作りました。祖母が考えた、米ぬか、油かす、ヨーグルトを使い、安全な素材を肥料から使うことで安全で丈夫な、そして地球にも優しい作物を作ることができました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チカ （ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

地産地消夏野菜カレー

活動の動機

我が家では家庭菜園をしているのですが、オクラが大量に出来たので、それを消費しようと考えた。そこで涼しげな夏野菜カレーを作ろうと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月31日

ゴール

7 12 15

解決したい地域の課題

家でできたオクラのような食べ切れられず捨てられるものを減らすことと、地産地消をして、輸送のエネルギーを減らすこと、そして涼しげなもので夏を少しでも涼しく過ごすこと。

目指す将来の姿

地元のものではできるだけ地元で消費して輸送のエネルギーなどを少なくするようなことが出来、また大量に作ってしまい、結局捨てなければならないような事態ができるだけないように地元したい。そして夏をもっと感じたい。

活動の内容

夏野菜カレー

材料/2人前:鶏胸肉120g なす1本 オクラ6本ピーマン2個 玉ねぎ1/4玉 かぼちゃ50g カレールウ
※ライス別

作り方: 1.鶏肉と野菜を1口大に切る。2.鶏肉を鍋で炒める。3.鶏肉に火が通ったら、野菜を加える。4.水500ml加えて中火で煮込む。5.野菜に火が通ったら、ルウを加える。6.とろ火で煮込む。7.とろみがついたら完成 盛り付ける。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

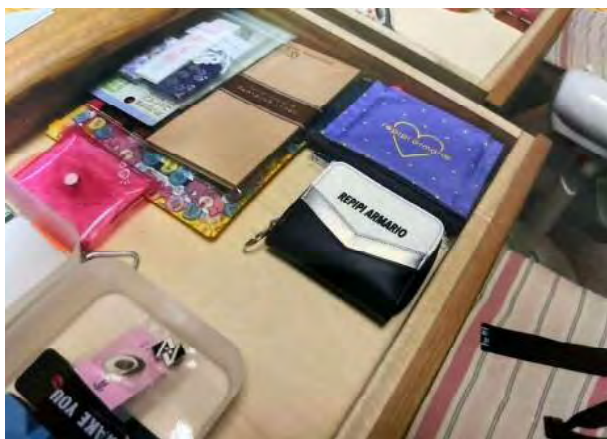
豊橋市高校生9: ; <チャレンジ活動

タイトル

身の回りのものを整理して豊かに

活動の動機

普段母が断捨離をしたり、物を増やさないようにする工夫をしています。私もいる物といらぬ物を整理し、いらぬ物を思い切って捨ててしまおうと考えたからです。



取組・活動 実施日

、 a bc de f d#

ゴール

12

解決したい地域の課題

自分の身の回りのものを整理して、スッキリさせることと、スケッチブックやメモ帳の白紙の部分減らすこと。

目指す将来の姿

物が多いので、当然捨てる物が多くなってしまいました。捨てるものをなるべく少なくするために、物を買う時に、本当にいる物かどうか判断してから買いたいと思いました。また、買ったけど使わなかった物はなるべく使うように努力して、それでも使いきれなかったら捨てるという風に無駄をなくしていきたいです。

活動の内容

自分の使わないものを片付けるために断捨離をします。溜まっているプリントやぐちゃぐちゃの引き出しの中を処分したり、整理整頓したりします。消費者側の責任は買った物をしっかりと使うことだということを理解します。あと、無駄になってしまうかもしれないスケッチブックの余りを使って絵を描き、キーホルダーを作ります。何かをつくる時は、無駄をなくすることが大事です。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豚さん（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 使わないものを送ろう**活動の動機**

今までもう使えなくなったものは捨ててきたけどもっとできることがあるんじゃないかと思ってこれにした。

**取組・活動実施日**

令和3年8月15日から令和3年8月20日

ゴール

12

解決したい地域の課題

リサイクルがとても少ないところ

目指す将来の姿

いつものと知らないものが区別がつく社会

活動の内容

知らない服などを集めてそれをユニクロなどの箱に入れに行く

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 海の環境を守るために

活動の動機

以前ニュースを見ていた時、とある環境問題について報道されていた。それは、海洋プラスチックについてだった。そしてそれが海の生物に甚大な影響を与えていると知りそれはなんとかしなければと思いこの活動をした。


取組・活動実施日

令和3年8月6日から8月20日

ゴール

14 12

解決したい地域の課題

公園などに不法投棄されたゴミを多く見るのでそういったゴミを無くしていったりみんなで地域清掃して町からゴミがなくなるようにしたい。

目指す将来の姿

3Rなどの活動を推進し、ゴミを削減する活動をもっと増やし活性化させていきたいです。そしてその先には、ごみをそもそも出さない無駄なごみ受け取らない「ゼロウェイスト」という状態を作れるような世の中にしていきたいです。

活動の内容

プラスチックが適切な処分をされないことによって海に流れている。そしてそのプラスチックが分解されたものが海中に存在することで海の生物が口にしてしまい死に至ることがわかった。そこで僕が考えたのはゼロウェイストだ。例としてあげるのは、水筒の持ち運びやエコバッグです。これらを使用することでペットボトルやビニール袋などのゴミが出ません。身近なことから変えていくことも大きなことだと思うので心掛けたいです。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル デニムスカートのリメイク

活動の動機

自宅の片付けをしていたところ、もう自分は履けないデニムスカートを
見つけ、まだ捨てずに使い続ける方法がないか考え、リメイクすること
にしました。



取組・活動実施日

令和3年は8月29日

ゴール

12

解決したい地域の課題

私は、通学路にゴミ置き場がいくつかあり、小学校の頃から今まで、登校する度に通り過ぎてきました。やはりゴミの量が多く、まだ使えるものを廃棄していることが多いことが地域の課題だと思います。

目指す将来の姿

もう自分が使わないものや不必要になったものをすぐ簡単に捨てるのではなく、使い続ける方法を考え、加工や工夫を出来るようになり、家庭から排出されるゴミの量を減らし、世界のごみ削減に貢献していく。

活動の内容

今自分が必要としているものは何かと考えたときに、部活着や体操服を学校に持ってくるかばんだと感じたので、トートバッグをにリメイクしました。毎日使いたいと思ったのでより頑丈で長持ちするように持ち手を下に折り込むなどの工夫をしました。また、制作の過程で出るゴミを少なくするために、できる限りスカートの形を残して加工をしました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

脱食品ロス

活動の動機

この夏開催された東京オリンピックで約13万食の弁当が廃棄されたとニュースで聞いた。さらに世界の飢餓地域への食べ物の援助量の1.5倍ほどの食料が捨てられているとわかったから。



取組・活動実施日

令和3年8月1日

ゴール

2 12 11

解決したい地域の課題

家庭での食品廃棄量が食品ロス全体の約半分を占めている。なので家庭での取り組み次第で食品ロス問題は改善されていこう。家庭での食品ロスを解決したい。

目指す将来の姿

食べ物が捨てられることのない無駄にゴミが増えない社会。飢餓地域への食品援助量が増えて飢餓で困る人がいない社会。各家庭で廃棄量が少なくなるような取り組みを行なって着実に食品ロスが減少している社会を目指したい。

活動の内容

食品ロスを減らすために普段捨てられる食材を調理してまた食べたくなるような料理にする。そこ普段なにかと捨てられるパンの耳を使用する。パンの耳はパサパサしているや固いなどと嫌いな人が多いだろうそこでチョコレートで甘くしてラスクみたいにして食べやすくすることでパンの耳が捨てられないようにする取り組みを行った。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

野菜の皮を使って食品ロスを減らそう

活動の動機

夏休み課題のハイスクールタイムズで食品ロスについての記事があり興味が出てきてその中の家庭の中で1番多い過剰除去を減らそうと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月22日から令和3年8月29日

ゴール

12 2 1

解決したい地域の課題

近年食品ロスの量が増えてきている。日本でも612万トンの食品ロスがある。その中でも家庭で出ている食品ロスは過剰除去が1番多い。実際に野菜の皮をむきすぎている人も多い。

目指す将来の姿

食品ロスを減らすこと。さらに食品ロスを減らすことによって今まで食料がなくて食べられなかった人達にも食べ物が届けられるようにすること。食べ物が届けられることで飢餓をゼロにする。また食品ロスによって生まれたゴミを処分するのに必要な費用を減らす。

活動の内容

一つは人参パウンドケーキを作りました。ホットケーキミックスを使うことによって料理初心者の人でも簡単に作れると思います。実際に皮ごとすりおろした人参を材料と混ぜ合わせてオーブンで焼くだけで出来上がります。人参が入っていることで砂糖少なめでも十分に甘さがあります。2つめはきんぴらごぼうを作りました。こちらはごぼうと人参を皮付きのまま使いました。皮付きのため素材の味がしっかり残っていて美味しかったです。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

okd （ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品ロス削減

活動の動機

夏休みの宿題をきっかりに世界の9人に1人以上が飢餓に苦しんでいるのに日本人は毎日1人あたりお茶碗一杯分のご飯の量を捨ててることを知り身近な食品ロス削減に取り組みたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月25日から令和3年8月26日

ゴール

2 12 14

解決したい地域の課題

毎週出されるゴミが多いと思った。各家庭が気をつけて少しでも食品ロスを減らせればもっとゴミも減ると思う。

目指す将来の姿

日本は大量の食品を輸入して捨てているので、日本人の一人一人が少しでも食品ロスを意識して減らしていけば、飢餓に苦しむ人に食品がまわり、さらにゴミ処理にかかる費用やエネルギーを減らせると思う。他にも廃油を再利用する事で川や海を汚さない様にもしたい。

活動の内容

野菜くずを出さない様に皮ごと食料を使ってカレーを作る。皮には栄養があって煮込めば食べられると分かったので、しっかり煮込める様に圧力鍋で作った。唯一食べられないと思った玉ねぎの皮は土に埋めて肥料にした。米の研ぎ水も植物の水やりに再利用した。他にも食用廃油がそのまま川や海に流れ出た場合、魚が住める水質に戻すのに150倍程度の希釈が必要だと知ったので、揚げ物で出た廃油はアロマキャンドルにリサイクルした。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

わたしたちにできること

活動の動機

衣服の整理をしていて、サイズのあわない服などが出てきました。まだ使えそうなものも多く、捨てるのがもったいないと思い、再活用できないかと考えました。



取組・活動実施日

令和3年8月20日から令和3年8月23日

ゴール

12

解決したい地域の課題

衣服の再活用について

目指す将来の姿

衣服の再活用について調べ、できることを実践することで12「つくる責任・つかう責任」に少し貢献できる

活動の内容

衣服がどのくらい再活用できているのかを調べた。約7割が処分、埋め立て約3割が再活用だった。まだ多くの服が処分されているのが現状。ゴミとして出す理由の多くは手間がかからないから。しかし、年々再活用される割合は高まっている。ハンカチをポーチにリメイクした。簡単なものだが、使いやすいので調べて良かったと思う。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

着なくなった服に次の活躍を！

活動の動機

私はユニクロで服を回収するボックスを目にしました。なかなか利用する機会はありませんでしたがこれを機会にこのような取り組みをする企業や団体について調べ、実際に利用してみようと思ったのがきっかけです。



取組・活動 実施日

令和3年8月23日から令和3年8月27日

ゴール

3 12 13

解決したい地域の課題

規模がすごく大きくなってしまおうのですが、大量の衣服の処分や制作によるさまざまな環境問題、途上国での衣料不足の解決です。

目指す将来の姿

誰かが気なくなった服を譲ることで全ての人が服を着て健康に過ごすことと、服を処分する量を減らし、リユース、リサイクルをすることで、環境汚染の対策や新しく消費する資源を減らすことのできる姿だと思います。

活動の内容

取り組みを調べました。団体はNPO法人ワールドギフトなど。貧しい人や難民などに届けているようですが、お金が発生します。企業ではユニクロやH&Mなど。両者も近くの店舗へ渡しに行くだけなので、手軽にできます。私はユニクロに寄付をしました。本来禁止の写真も撮らせていただき、話によると、その後難民へ送るものとリサイクルするものに分けそれぞれ役立つみたいです。こういったものは積極的に参加していきたいです

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

おきにいりの服をマイバッグに

活動の動機

おきにいりだった服がサイズアウトしてしまい、捨てるのももったいなくずっと使い道を考えていました。色々調べていたら服からマイバッグを作ることができるを知り、一石二鳥だと思い作ろうと思いました。



取組・活動実施日

令和3年8月29日

ゴール

7 12 14

解決したい地域の課題

着ることが出来なくなった服の使い道、レジ袋がプラスチックゴミとして海洋生物に悪影響を及ぼすこと、地球温暖化の原因物質CO2の削減。

目指す将来の姿

プラスチックゴミとして海洋生物に悪影響を及ぼしたり、地球温暖化の原因となったりするレジ袋の削減をし7番のエネルギーをみんなにそしてクリーンにや14番の海の豊かさを守ろうを達成できたらいいなと思います。

活動の内容

着ることが出来なくなった服を用意し、ハサミで切る。切込みを入れた部分を結んでいく。マイバッグが完成したら買い物などに持っていく。Tシャツとハサミだけで作ることができるし、Tシャツ生地なので持ち運びも便利です。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

いらない服で！「スタホショルダーポーチ」

活動の動機

着なくなった服やサイズが合わなくなった服が大量にあり、捨ててしまうのは勿体ないし、何かに変えてもう一度使いたいと思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月21日から令和3年8月30日

ゴール

12

解決したい地域の課題

「自分がその物を使わなくなった」という理由でまだ使える物や、リメイクしたら再度使えるものが多いが、すぐに捨ててしまうこと。

目指す将来の姿

ただ「いらなくなった」「使わなくなった」「着れなくなった」という理由だけで捨ててしまわずに、何かにリメイクしたりして、もう一度誰かに使ってもらう事でリサイクルに繋げる。

活動の内容

サイズが合わなくなったり、もう着なくなってしまった服たちを、いろんな世代のいろんな人たちに幅広く沢山使って貰えるように、「スタホショルダーポーチ」を作る。捨ててしまう服の良いなと思うところの生地や、デザイン、柄などの部分を指定の大きさに切り取り、縫ったりして自分の好きな、世界に一つだけのスタホショルダーポーチを作る。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

海を守る環境づくり in名古屋港

活動の動機

私は、プライベートで名古屋港水族館に行く予定があり、名古屋港水族館ではSDGsについて取り組んでいることをきっかけに海に関するSDGsについて知りたいと思ったからです。



取組・活動実施日

令和3年8月5日から令和3年8月7日

ゴール

12 14 15

解決したい地域の課題

海にゴミがあると海洋生物は餌だと勘違いして食べてしまいます。そうするとそのゴミの影響で死に至ることがあります。なので、ゴミゼロの街にすること。

目指す将来の姿

私が目指す将来の姿は、人間もその他の動物も暮らしやすい世界です。今は、人間が出すゴミなどで、海洋生物が苦しめられていることや、死に至ることがあります。ですが、私たち人間がゴミを出さないことで、海も陸もどんな生物にとっても暮らしやすい世界になればいいと思います。

活動の内容

まず、名古屋港水族館を訪れて名古屋港水族館が行っているSDGsの活動を調べました。名古屋港水族館では、レストランから出るコーヒーかすを使ったエコ肥料作りや、エコアクアリウムというところで海洋生物にとってゴミがどれほど危険なのかを、展示、解説していました。そこで私は海岸や川辺にあるゴミだけでなく、陸のゴミも海洋生物にとって危険なことを知ったので近くの川辺や道路のゴミ拾いをしました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

こんみゆ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 誰でもすぐにできること**活動の動機** テレビで食品ロスや食材の値上がりに関して昔からやっていたので少しでも貢献できることはないかと考えたから**取組・活動 実施日**

令和3年8月31日

ゴール

12

解決したい地域の課題

ペットボトルのリサイクル

目指す将来の姿

餓死する人や無駄な食料をなくす

活動の内容

豚の生肉の表面の水分を取り小分けにして密閉容器に入れる
マイボトルやエコバッグを使用する
ペットボトルはラベル、キャップを外して軽く洗い、潰して分別する

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 未来の地球を守るためには**活動の動機** 私は地球温暖化のニュースを見たことをきっかけに、環境にやさしい生活を送ろうと思い、この活動を選びました。**取組・活動 実施日**

令和3年8月3日から令和3年8月10日

ゴール

12

解決したい地域の課題

使われるプラスチックや出るゴミの量が減り、二酸化炭素の排出が減って、地球温暖化を少しでも抑えることができること。

目指す将来の姿

ゴミの量が減り、二酸化炭素のはいしゅつが減って、オゾン層が守られ、地球温暖化にならなくなる。さらに、食品ロスも減れば世界中で飢餓が無くなり、小さい子どもの命を守ることが出来る。一人一人が少しでも意識を変えていけば、将来の地球や世界中の人々の健康を守ることができる。

活動の内容

買い物に行く時はマイバッグを持って行き、もし、紙袋やビニール袋に入れてもらったら、捨てずにとっておき、使いたい時に使い、使えなくなるまで使う。コンビニやスーパーでご飯やアイスを買った時に、家で食べる場合はスプーンやはしをもらわず、家でいつも使っている使い回しのものを使うようにする。果物や野菜を切る時に、廃棄する部分をなるべく少なくする。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チョコ3倍濃厚カントリーマアムエリゴン！（ 3 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

生き物が暮らしやすい川を目指して清掃活動

活動の動機

登下校などで柳生川を見るときにビニール袋のごみや、自転車など川に落ちているはずのないものが落ちていて学校のボランティア活動を利用して身近にある川をきれいにしようと思い、このボランティアを始めました。



取組・活動 実施日

令和3年5月29日、8月5日、10月9日、11月7日

ゴール

11 12 14

解決したい地域の課題

自分たちが使ったものを正しく処理できず、川にごみを捨てたことにより川の環境が悪くなり、住んでいる生物、特に環境の悪化に弱い在来種の数が減っている。

目指す将来の姿

自然の中で生きる生物が暮らしやすい環境を維持するために、自分たちが使ったものを正しく処理し、ごみのポイ捨てがない街づくりに市民全員が取り組んでいる。そのために、この活動を学校内だけで終わらせるのではなく、地域の方たちと一緒に活動することで環境保全の担い手を増やしていく。

活動の内容

月に1・2回のペースで柳生川に行き地域の方々と一緒に一人一人がトングや手袋を持ち、ごみは川に沈んでいるため濡れながらごみを拾っています。大きいごみは人の力では運ぶことはできないため、リアカーを使い運んでいます。行動範囲を広げていき、地域の方々にも手伝ってもらいながら柳生川に落ちているごみを少しずつでもなくそうと頑張っています。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

石黒貴久（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 海のゴミをなくそう

活動の動機 僕は海や川に行って毎回思うことがありました。それはゴミが多いということです。なので活動をしようと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月10日

ゴール

12

解決したい地域の課題

海や川などで、ゴミが大量にあってそのゴミを無くすこと、地域の人が3Rをしっかり意識して生活すること。

目指す将来の姿

最終的にはゴミがなくなること。ですがそれは不可能に近いのでこの世の人全員が3Rを意識して生活すること。
魚の中にあるマイクロプラスチックがなくなる。ものを全てリサイクルすること。なるべくゴミを出さないこと。

活動の内容

自動販売機などでジュースを買わないことによりペットボトルゴミを出さない取り組みとマイボトルを毎日外出するときに持ち歩く取り組みマイ箸を持ち歩く取り組みエコバッグを持ち歩く取り組みシャンプー、食器用洗剤、洗剤などを全て詰め替え式にすることによりゴミを減らす取り組み。ペットボトルなどしっかり分別してリサイクルする取り組み。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル myOOと工夫した食事

活動の動機 SDGsの個人でできることを調べていたら、ゴミを減らすことが1番始めやすそうだなと思ったのでこの活動を選びました。



取組・活動実施日

令和3年8月1日から8月3日

ゴール

12

解決したい地域の課題

食品ロスという言葉があるように、食べ物のゴミが多いのではないかなと感じました。また公園などでプラスチックのゴミもよく見かけるなと思いました。

目指す将来の姿

減らせるゴミは何だろうと常に考えて行動に移せる習慣が多くの人に身につくといいなと思いました。myOOを持ち歩くことや工夫した食事を考えることで12番のつくる責任・使う責任を達成出来たらいいなと思いました。

活動の内容

スーパーに行く時はmyバックを持っていきビニール袋のゴミが出るのを減らしました。外出する時にはmy水筒を持っていきペットボトルのゴミが出るのを減らしました。また、コンビニで買えるプラスチックのスプーンを買わないようにしました。食事の方では、人参の皮を使ったきんぴらごぼろやさつまいもを皮ごと使った芋けんぴを作るなどして、普段は食べられるのに捨ててしまっていた野菜の皮も活用した料理を作りました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

飢餓をなくすために

活動の動機

夏休みの課題で配られたニュースクールタイムズで食品ロスについての記事を読んで食品ロスをなくすことは飢餓を無くすことにつながるのではないかと思い、興味を持ったから



取組・活動実施日

令和3年8月20日

ゴール

2 12

解決したい地域の課題

もっと一人一人が食品ロスについての感心を持ち、それについての対策などを知り、実行する。

目指す将来の姿

もっと一人一人が食品ロスについての感心を持ち、対策して、食品ロスの削減に努めて、国の負担を減らし、そのお金を貧困に苦しんでいる国に送り、飢餓を減らしていつかゼロにし、世界中の人たちが毎日安心しておいしい食事をできるようにしたい。

活動の内容

インターネットで飢餓について調べ、SDGsが勧めている活動や自分でもできそうなものを探しだし、実行した。
自分がしたのは、賞味期限と消費期限の違いを知ったり、買い物をするときなるべく期限の長いものを買ったり、必要とする最低限の量を買ったり、残ってしまった食事をとっておいしたり、できるだけ残さないようにしました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 廃棄物の減量

活動の動機 夏休みに祖母の家に行った際に祖母が手作りのマスクを作っていると知り、それがSDGsに繋がっていることを知ったからです。



取組・活動実施日

令和3年8月24日から8月29日

ゴール

12 11

解決したい地域の課題

自分の地域だけに限らないのですが、廃棄物がとても多いように感じるのでその量を少なくできたらというのが願いです。

目指す将来の姿

世界中の一人一人がSDGsの意識を持って生活していくことを目指します。そのためには今回の目標から考えると繰り返し利用できるものを自分で作り、少しでも廃棄物を減らし、よりよい環境に変えていくことを目指します。また、それが当たり前になることも目指します。

活動の内容

インターネットでマスクの作り方を調べ、手縫いでマスクを作りました。実際に自分で作ったマスクをつけてみると肌触りがよく、夏の暑い日でもそこまで息苦しさを感じなかったのでとてもいいなと思いました。また、SNSでもいろんな人が作ったマスクの投稿がされていました。それをみると柄や形、素材などその人のこだわりがでたマスクがたくさん作られていたので自分のお気に入りのマスクを作るのも楽しくできると思いました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

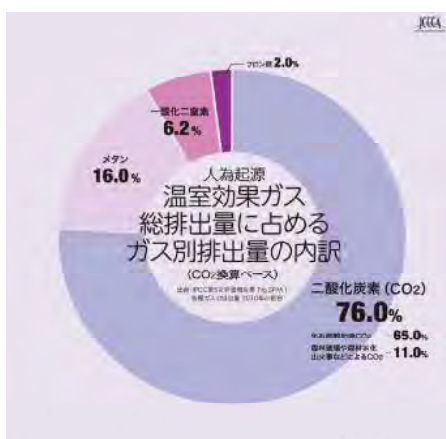
豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

エコな世界にするために

活動の動機

テレビなどで環境問題についてやっているのを見て自分に何かできることはないかと考えてこれなら自分でも出来ると思ったから



取組・活動 実施日

令和3年8月1日から令和3年8月29日

ゴール

7 12 13

解決したい地域の課題

地球温暖化

目指す将来の姿

普段生活している中で誰もが環境のことについて真剣に向き合って生活している未来

活動の内容

8月の1ヶ月間は電気の節電をした
 具体的には電気をつけっぱなしにしないようにしたりエアコンが無くて過ごせる時はなるべく付けないようにして水道で手を洗ったりシャワーをつかうときに水を出しすぎないように注意して生活した

◆ニックネーム・グループ名（人数）

メメ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

つくる責任つかう責任

活動の動機

- ・フードロスについての新聞記事を読んで日本は今深刻な状況にあるのだと知ったから
- ・ゴミの分別も大切だと思ったから

取組・活動実施日

令和3年8月31日



ゴール

12 14 2

解決したい地域の課題

1人あたりのまだ食べられるのに捨ててしまう食品の量を減らす

目指す将来の姿

- ・1人あたりのフードロスの量を減らす
- ・ゴミの分別を一人ひとりが意識して、3Rに取り組めるようにする

活動の内容

- ・一日あたりどのくらいの生ゴミが出たのかを調べた
- ・汚れが取れないもの以外のゴミの分別をした

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

野菜の皮でアレンジレシピ

活動の動機

見ていたアニメのシーンで野菜の皮など普段捨ててしまう部分を美味しく料理するシーンがあり、SDGsに繋がるのではないかと考えたから。



取組・活動 実施日

令和3年8月7日から令和3年8月9日

ゴール

12

解決したい地域の課題

生ゴミの廃棄量を減らす。

目指す将来の姿

・家庭で一般的に野菜の皮を料理の材料のひとつとして使われるようになる・野菜の皮などを使ったお菓子などが世の中に出回るようになる

活動の内容

野菜の皮には、中身以上の栄養や中身にはない栄養がたくさんつまっていた。そこで食べられる野菜の皮を調べてその中から調理して食べてみた。1品目は人参と野菜のキンピラを作った。少し苦くて臭みがあった。2品目はじゃがいもの皮チップスで、サクサクしていてケチャップをつけて食べると臭みもやわらいで1品目より美味しく食べることが出来た。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品ロスの削減

活動の動機

- ・家の冷凍庫に使わずにとってある食品がたくさんあったから。
- ・冷凍庫の食品を使えば食品ロスの削減につながると思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月20日

ゴール

2 12

解決したい地域の課題

- ・コンビニなどで購入した弁当のゴミなど、食品ロスにつながる食べ物のゴミが捨てられていること。
- ・自分の家庭での食品ロスが思っていたよりも多いこと。

目指す将来の姿

- ・食べ残しなどを無くし、家庭から出る食品ロスの量を毎日0にする。
- ・世界全体の食品ロスの量から見ればごく少量でも、自分から確実に少しはその量を減らす。

活動の内容

- ・冷凍庫に余っている食品の中で、何の種類が多いのかを調べた。肉類や冷凍食品などの弁当でよく使う食品が多く入っていた。
- ・いつ冷凍庫に入れたかが分からなくなってしまっていたから、冷凍庫に食品を入れる際、日付を書いた付箋を貼ることにした。
- ・冷凍庫に多く余っていた肉類、冷凍食品、ご飯などを使って昼ごはんを作った。放っておいたら捨ててしまう食品をたくさん使ったため、食品ロスの削減につながったと思う。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ユネスコ委員会（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル ”届けよう、服のチカラ” プロジェクト

活動の動機

私たちが着ることができなくなった子ども服を難民の子供に贈ることで健康や命を守ったり、人としての尊厳を守ったりできるという(株)ファーストリテイリングの考えに共感してこの活動は始まりました。



取組・活動 実施日

一年間を通して

ゴール

3 10 12

解決したい地域の課題

世界情勢の変化による紛争や内戦で難民の人数も年々増加傾向にあります。豊橋市はほか市区町村と比べ外国籍の割合が高く多様性に富んだ都市です。少しでも多くの方が難民問題に目を向けてほしいと考えています。

目指す将来の姿

「”届けよう、服のチカラ” プロジェクト」を通じて、世界的な難民問題や貧困問題をもっと多くの人に知ってほしい。参加者の増加による啓発的な効果も高めたい。私たちの身近に存在している着ることができなくなった子ども服を活用してこの活動の参加者を増やし難民の子どもたちにより多くの服のチカラを届けていきたい。

活動の内容

この活動は豊橋市内の幼稚園、こども園にご協力いただき、毎年沢山の子ども服を回収しています。幼稚園、こども園のみなさんに協力をお願いするにあたって園児に合わせて、チラシや回収箱作るなどの工夫をしています。昨年からコロナウィルスの影響で短い期間での実施でした。量より一枚一枚の思いを大切に難民の方が喜んでもらうために気持ちよく快適に着られる服を贈っています。その結果毎年約一万着集めることができます。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

笹谷心海（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 今の自分にできることを

活動の動機

最近ニュースでゴミの廃棄などに関する記事などを見ることが多いなど感じていて、この機会に自分の家でも見直して少しでも家庭のゴミを減らそうと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月18日から8月31日

ゴール

12 15 14

解決したい地域の課題

年々増えているゴミの廃棄量を減らすことです。またそのために地域全体での意識を変えていけると思います。

目指す将来の姿

どの人も欠けることなく地域全体でSDGs達成に少しでも貢献できるようにみんなで努力して、どこに住むどんな人であっても安心安全で暮らせる社会にしたいです。また、地球にいる人間はもちろんのこと、生きているたくさんの生物とも絶滅せずこれからも長く共存していける社会にしたいです。

活動の内容

私は今回ゴミの廃棄について調べました。ゴミの廃棄量は年々増加していて、それは処理しきれないほどに多くなっていることがわかりました。その中でも家庭から出るゴミが特に多いことがわかりました。なので家庭ゴミを減らすためにいらなくなった服からブックカバーを作りました。デニムの生地だったので頑丈にできました。これによってゴミを少なく有効活用できるし、本をより長く使うことができるのでよかったです。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ス（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 豊橋市の犬猫保護のために

活動の動機

2020年以降、新型コロナウイルスによって在宅時間が増えた事でペットブームが起こったと言われている。新規にペットを飼う人が増えた今、ペットを飼う責任や重要性を普及啓発するべきだと感じた。


取組・活動 実施日

令和3年7月12日から令和3年7月19日

ゴール

12

解決したい地域の課題

犬猫を終生飼養する責任の認知度の低さ。

目指す将来の姿

犬猫の殺処分が行われない。適性飼育のできる環境の整った飼い主の元へ、全ての保護犬保護猫が引き取られる事。また、野良猫は地域猫活動などを活発にし、地域トラブルが起こらないよう適正に管理される事。

活動の内容

保健所生活衛生課の方へインタビューを行い、動物愛護に関する事の中でも高校生に知っておいて欲しい事は特に動物の終生飼養の責任であると教えて頂いた。保健所作成リーフレットの「犬の飼い主のみなさんへ」と「猫との幸せな暮らしのためにマナーを守っていますか?」と、それを参考にした漫画版リーフレットを作成し、種類ごとに2クラスへ配布。見やすさ、興味の2観点で評価して貰った所、漫画版の興味値は高かった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

20050705 （ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル ECOお手玉で無駄ZERO**活動の動機**

私が小さい頃につかっていたもので、可愛い柄やキャラクターの布を見つけ、今はもう使えそうになかったので、何か小さい子が使うようなものに変えられないかと思い、活動を決めました。

**取組・活動 実施日**

令和3年8月9日

ゴール

12 14 17

解決したい地域の課題

まだ使えるものでも、その時に必要がないからと言って、捨ててしまっている事が多いことです。できるだけ多くの資源を再利用していきたい。

目指す将来の姿

使えるものは使って無駄のない生活が出来るようにしていきたいです。多くの方がSDGsの知識を持ち、目標を達成することを目指して、最終的には17の目標を全て達成出来ているようになって言ったらいいと思います。

活動の内容

まだ使えるものを捨ててしまっているという問題点を解決するために、布の柄を活かして小さい子が遊べるようなものを作ること考えました。そこで作ることにしたのが、お手玉です。お手玉なら手軽にできるし、布を再利用すると同時に中身に使うストローも再利用出来るのではないかと思います。また、鈴を入れることで遊ぶ人がより楽しくなるのではないかと考えました。触り心地もやわらかく、環境によいものをつくりました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

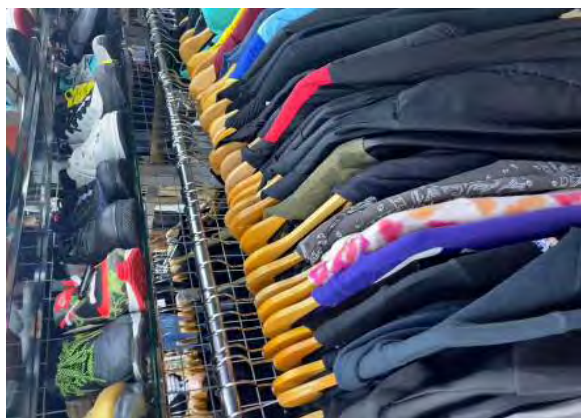
佐藤優磨（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 古着リサイクル

活動の動機 着ない古着があり、丁度いいと思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年9月5日

ゴール

12

解決したい地域の課題

無駄に服が捨てられることなく皆で着まわせるように

目指す将来の姿

無駄に捨てられる服をなくすことで、資源の保護にもなる

活動の内容

近くのリサイクルショップに古着を持って行って売る、そのお金で服を買う。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

よこた（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル つくる責任使う責任**活動の動機** 小さくて使えない服をリサイクルしようと思ったから**取組・活動 実施日**

令和3年8月28日

ゴール

1 3 12

解決したい地域の課題

使えない物を捨てるんじゃなくてつかおうとしているひとにゆする

目指す将来の姿

使えなくなったり使わなくなったりしたものを捨てるのではなくリサイクルできるようにする

活動の内容

使わなくなった服をいとこたちにゆする

◆ニックネーム・グループ名（人数）

シノミヤヨオ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 脱エアコン

活動の動機 6月の電気代と、7月の電気代に3000円位差があった。これはエアコンの使いすぎや節電の意識の低さが原因だと思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月11日から令和3年8月29日

ゴール

7 13 12

解決したい地域の課題

月に使う電気代が多いのでできるだけ節電をして7番の目標達成できゆようにする

目指す将来の姿

エアコンなど電気を使いすぎているので環境によくないと思った。なので、家族で無意識のうちに節電できるような姿になっていたい。

活動の内容

エアコンの使用は避けるようにしました。なので家の中での風の通り道を作り、熱のこもりやすい天井をむけて濡れたたおるや保冷剤を使った扇風機で風を送った。エアコンの電気代は扇風機の約10倍なので扇風機だけで涼めることで電気代を大幅に削減できた。他にも冷蔵庫の中を整理して冷やしやすくしたり、電気の消し忘れがないように意識したりして節電に取り組んだ。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

油ギッシュ対策本部（4人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル リサイクルの現状

活動の動機

リサイクルという言葉をよく耳にするが、具体的に何をしているのか、私たちに何ができるのかということを知らなかった。そこで、リサイクル率を上げるために私たちに何ができるのか調べたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月

ゴール

12 14 15

解決したい地域の課題

生ゴミや雑がみなどさまざまな燃やすゴミの4割以上は、リサイクルできるのに捨てられてしまっている。また、豊橋市の平成30年度

目指す将来の姿

捨てられてしまっているリサイクル可能なごみを減らし、リサイクル率をさらに上げる。そのためにリサイクルステーションやリサイクル可能なものを多くの人に知ってもらえるようにする。豊橋市で生活している人全員の意識で無駄にせず、できる限り有効活用していく。

活動の内容

私たちができる身近な活動として、食用油のリサイクルができるのではないかと考えた。食用油のリサイクル方法として、リサイクルステーションに家庭で使用済の食用油を持ち込んだり、凝固剤を利用してキャンドルをつくるなどがある。しかし、食用油のリサイクルをしたことがある人はクラスで39人中5人と少なく、またリサイクルステーションも目立たない場所にあるため、SNS等で情報を発信していきたい。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

みんなにリサイクルしてもらい隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル ゴミステーションに注目!!!

活動の動機

豊橋市は指定ごみ袋制度の導入と生ごみ分別収集の開始をきっかけに、ごみの排出量が大きく減少したという現状を知り、もやすごみの減少などの目標の達成と更なるごみの減量に向けた取り組みが必要だと考えたため。



取組・活動実施日

令和3年7月26日から8月29日

ゴール

11 12 13

解決したい地域の課題

豊橋市は平成28年の指定ごみ袋制度と生ごみ分別制度の導入により平成21年から平成30年で約2万トンの削減に成功した。これを転機に私たちはごみの減量・分別からリサイクル率のさらなる向上が課題だと考えた。

目指す将来の姿

市全体で高い環境意識を共有し、市民一人一人の環境の意識を向上し、私達市民が自らの役割を理解し、循環型社会の構築に積極的に取り組み、環境にやさしい暮らし方の普及がされている。また、地球環境保全に向けた取り組みを行うことにより、将来の世代が良好な環境の下で暮らせる、未来へつなぐ環境のまちを目指したい。

活動の内容

ゴミを出す際、分別をしないと資源もただのゴミになってしまう。そこで、豊橋は分別ができていないかゴミステーションに見に行った。多くの地域で分別できていたが、可燃ゴミと共に牛乳パックなどの資源も含まれていた。これらはスーパーなどで回収を行っている。牛乳パックは入念に洗う必要があると思うが、実は水を入れ、斜めに振ることを繰り返すだけで綺麗になる。これだけで、資源は生まれ変わり、リサイクルに参加できる。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

East Walking Group （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

とよはしあるき-健康づくりの旅-

活動の動機

豊橋市民の健康に着目し、簡単に楽しくできる健康づくりとしてウォーキングをしようと思いました。コロナ禍で中止となる企画は多いものの、豊橋の魅力再発見しながら歩ける企画が必要だと考えました。



取組・活動 実施日

令和3年8月10日、令和3年8月12日

ゴール

3 12

解決したい地域の課題

豊橋市を含め、現在日本では高齢化進行しており高齢者の健康維持がより重要になってきています。また、豊橋の魅力をまだ知らない人もいます。そんな人達に魅力を知ってもらう必要があると思いました。

目指す将来の姿

豊橋の名所を巡る健康ウォーキングコース作ることによって、豊橋に住んでいる人だけでなく、他の市や県に住んでいる人がこのウォーキングコースで歩いて平均寿命が長い豊橋市を目指します。また、名所を巡ることによって、多くの人が豊橋市を訪れ、今以上に活気のある豊橋市を目指します。

活動の内容

班で2手分かれ、豊橋駅周辺と二川駅周辺を歩いてウォーキングコース設定しました。祖父母と一緒に歩くことを想定して実際に歩きました。豊橋駅周辺コースでは、豊橋駅→豊橋公園(吉田城)→豊橋駅という順番でまわります。二川駅周辺コースでは、二川駅北口→二川宿→桜並木→二川駅南口順でまわります。実際に歩いてみないと分からない街並みや、歴史を感じることができ、知らない豊橋の一面を知ることが出来ました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

37企業家育成グループ（9人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

小さな意識改革から豊橋市の未来を作る

活動の動機

豊橋市のごみについて、18年間豊橋で暮らしてきたのに知らないことが多く驚いた。知識を得た私たちが校内で行動を起こすことで高校生の意識改革へと繋がり、今後の豊橋がより良いものになると考えたため活動した。



取組・活動 実施日

令和3年4月14日から

ゴール

11 12 7

解決したい地域の課題

燃やすごみの袋の中に入っている多くの資源の分別。

目指す将来の姿

豊橋市の燃やすごみの削減とそれに伴いリサイクル率を向上させ、ごみ問題について悩むことのない、豊橋市民が笑顔で住み続けられる街。

活動の内容

豊橋市のごみ問題の現状を知り、私達は特に燃やすゴミの中に入っている本来は分別されるべき資源に目をつけた。それを解決するためには意識改革が必要だと考えた。校内でトイレトペーパーの芯の回収箱を設置したり、雑がみや古紙分別ポスターを作成し掲示したり、学校内の様々な所に分別を促す物を設置し、常に分別を意識してもらえよう取り組みを行ってきた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

フード戦隊バンクマン（4人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 西高フードバンクボランティア

活動の動機

福祉関係の進路を志望している生徒向けに開かれた講演会で、東三河フードバンクの方の、食品ロスを減らし、誰もが豊かな食事に恵まれて欲しいという言葉に感銘を受けたため。



取組・活動実施日

令和3年10月21、22

ゴール

2 3 12

解決したい地域の課題

一人親世帯、高齢者、外国人留学生など食べ物に困る人をなくしたい、食品ロスを削減したい

目指す将来の姿

一人親世帯、高齢者、外国人留学生など、食べ物に困っている人に食べ物をとどけ、企業や福祉団体などと協力することで食品ロスを減らす。そうして、もったいないと言いつつ食品を捨てること、仕方が無いと言って食べることを諦めることの無い将来を目指したい。

活動の内容

豊橋西高校の文化祭前日、当日の2日間でPTAの方々と協力し、ダンボール12箱分もの食品や日用品の回収をしました。昨年度から2年連続で西高フードバンクボランティアを開催しましたが、昨年度よりも多くの食品、日用品を回収することが出来ました。豊橋西高校で回収された食品や日用品はNPO法人東三河フードバンクへ寄付しました。